

■「五條市学校適正化に関する意見交換会」の開催状況

実施期間 :平成29年7月10日(月)～8月21日(月)

対象 :地区住民及び各校区の中学校、小学校(幼稚園、保育所(園)、未就園児含む)
に通う児童生徒の保護者を対象に実施

【各会場の来場者の人数】

開催日時	各中学校区	会 場	人数
7月10日(月) 午後7時～	五條中学校区	五條小学校	11
7月12日(水) 午後7時～	五條西中学校区	五條西中学校	22
7月14日(金) 午後7時～	五條東中学校区	阿太小学校	20
7月19日(水) 午後7時～		北宇智小学校	12
7月24日(月) 午後7時～		宇智小学校	6
8月8日(火) 午後7時～	西吉野中学校区	西吉野中学校	23
8月9日(水) 午後7時～	野原中学校区	野原中学校	21
8月20日(日) 午前10時～	全校区	中央公民館	3
8月21日(月) 午後7時～	五條中学校区	阪合部小学校	25

合計 143名

「五條市学校適正化に関する意見交換会(地域住民・保護者対象)」での主なご意見

(平成29年7月10日～8月21日 9会場)

対象: 地域住民及び未就園児・園児・児童・生徒の保護者 来場者合計 143名

意見交換会の会場でいただいた主なご意見

◎: 質問、ご意見

→: 事務局の回答

平成 29 年 7 月 10 日(月) 五條小学校会場(11名)

◎5年生の子どもがおり、親としては説明を聞かされても登下校の不安がある。サークル活動等を通して事前に子ども達が交流することによって、不安が少しずつ消えるのではないか。

→適正化の際、統合協議会を設置しますので、そこで学校間、児童・生徒間の交流の場を持ちます。

◎西吉野は廃校になるのか。

→現時点では決まっておられません。

◎ふるさとの学習を6小学校で、学年ごとに校舎を移動する案はどうか。廃校にしなくて済むのではないか。

→学年ごとに移動するのは教育活動上、不可能です。ふるさと学習は取り入れていきます。

◎五條小の小学6年生が新町通りを案内している。昔は(自分たちは)案内できなかった。五條の歴史が分からなかった。

→五條小の取組は新聞でも取り上げられました。「新町学」はありましたが、今は「五條学」を編集しています。出来上がれば五條のふるさとを学ぶことができます。

◎複式の学校がどこか分からない。

→阪合部小、阿太小が対象となります。しかし、市で加配を行っており、複式を実施しているところはありません。学年単学級の中学校は野原中と西吉野中です。

◎段階的という部分が分かりにくい。6年後に第1段階を実施するのか。

→6年後に2つの学園に持って行きたいと考えています。計画を3月までに策定し、次に協議会で交流や取り決めを行います。一番早い第一段階は平成31年度と考えています。

また、五條西中と牧野小で小中一貫のモデル校をやっています。軌道に乗れば、みなさんに報告します。

◎少子化が進んでいる中で親の心配はいじめ等である。

→交流の大事さは、人を知っているか知らないかで大きく違ってくると思っています。他会場でもいじめの話は出ています。統合して子どもは多くなっても、教師も多くなります。また、適正化によりソーシャルワーカー等、教員以外の職員の配置も可能になります。

◎五條市全体でどれだけ(児童生徒が)いるのか。

→五條全体で1900人います。

◎五條市内中のみんなが顔を合わせられるような五條全体の交流の場を作ってほしい。

→全体では難しいと思います。学園の中で交流を行っていきます。交流は現在も金剛登山、小中音楽会等のイベントで行っております。

◎市全体が一つの方向に進んでいるのは良いことだ。

◎ゆとり教育があったが、先生方のゆとりが持てるように検討を進めてほしい。

平成 29 年 7 月 12 日(水) 五條西中学校会場(22名)

◎今まで説明のあった内容と同じでスクールバス等、新たな情報がない。何のために開いているのか。

→これは皆さんのご意見をより多く聞いた上で進めていきたいと考えています。地域住民の方は昨年11月以来の開催となるので1月～4月までに開催した保護者向け意見交換会の意見の内容も説明させていただきました。

◎意見交換会となっているが、この内容ありきで進めているように思う。

→今は素案Ⅰ、Ⅱをもとにして意見を聞いている状況なのでご理解いただきたいと思います。

◎新たな案が無い。新しい情報が無いと感じる。過去2回の説明(11月の説明会と1～4月に行った意見交換会)と全く同じと思ってよいのか。

→現在は各地域で一つ一つ意見を聞きながら進めている状況です。私たちはかけがえのない子ども達のこれからの教育をどうしていくかを考えております。いただいたご意見をもとに現在進めている状況についてご理解をお願いします。

◎自分としては早く進めていただきたいと考えている。現在、部活動等、実施できていない学校もあるので早く子ども達に提供していただきたいと思っている。今後、進展があれば事前にどんな内容か知らせてほしい。

◎学校適正化のスケジュール、1年延期について確認させてほしい。

◎主なご意見の資料を見させていただいたが、保護者の方は現状から変わることについて不安を抱えているのではないかと。

◎通学距離等の意見もあり、良い教育環境を作りたいという内容が感じ取れなかった。

◎和歌山県の状況では同じ敷地内に小学生、中学生の交流がある。親としては安心できるのではないか。

◎五條市のこの適正化は町おこしの一環になるのではないか。これは人口の流入につながるのではないか。

◎他の市町村では受けられない教育が、ここで受けられるということが分かれば親の不安も無くなるのではないか。

◎適正化の学校配置は数(児童生徒数、教室数)の配置となっているが、自分が子どものころは 1 クラス 45 人だった。

◎現在の先生の実情は気の毒なくらい大変そう。先生方のご苦労を考えるとこちらの改善も考えるべきではないか。人員の確保等、あわせてしてはどうか。

◎若手の先生を仮採用してこの先生を育てていき、数年後に正式採用する等してはどうか。

◎少人数のデメリットは捉えようによってはメリットになる。少人数であっても切磋琢磨できるように工夫することがあっても良いのではないか。

◎クラス替えができないとあるが、クラス替えしないといけないのか。

◎クラス替えをしたくない先生にとっては、これはデメリットになる。

→計画案が出来れば、児童・生徒間の交流を進めていきたいと思っています。先生方との交流も同様に考えています。

◎部活動も人数が少なくても試合に出場出来るようにしたら良いのではないのか。

◎五條はただ地価が安いというメリットだけでなく、魅力ある教育があればよいと思う。

→教育委員会事務局も4月から組織を変更し、子ども未来課を新設して幼保一体化の事業と連携してこの学校適正化の事業を進めております。五條の子ども達にとって、より良い教育環境を作ることを目指しております。

◎意見交換会に参加させていただいている。それぞれの地域によって意見が変わっていると感じている。

◎素案では五條西中校区に関して小学校は残る、中学校は統合となっている。今回はどんな意見交換会になるのかと楽しみにしていたが、地域によって意見交換会の意見が違うと感じた。

◎五條西中と五條中が統合となっている中で通学の不安がある。

◎田園、新興住宅地を購入する際、学校があることが前提だった。なつみ台は五條西中から近いのに、これが無くなるとなればまちの活性化につながらないのではないか。

◎この会場の参加者が 25 名ぐらいだが、住民の方は真剣にこのことを考えているのか。

◎保育園等に通われている保護者を対象に意見交換会を開催するべき。

◎少子化で適正化は必要と皆は思っている。統合した時はこういうメリットがあるということ全面的に出していくべき。

◎基本計画の策定が平成 29 年から平成 30 年になった。6 年先に統合となれば子ども達は卒業している。現時点で生まれていない子どもに関わってくる計画となっている。

→現在考えているスケジュールは、段階的に統合していく内容です。統合する学校の交流は、統合協議会を立ち上げて行っていきます。最短では平成 31 年度からの統合になります。

◎今後も意見交換会を開催するのか。

→今回も含め、現時点では意見を聞いている状況です。来年には計画案ができるので説明会を開く予定です。

◎説明会にずっと参加しているが、段階的に6年後に行うとなれば五條西中ですべて賄えるのではないか。そんな状況で五條中に行くのに疑問がある。

→五條中との統合については皆様からの意見が多いが、五條東中との統合については意見が無い状況です。五條西中だけを見るとおっしゃった内容になりますが、これは五條市全体で考えなくてはならない状況であることをご理解ください。

◎今の案では校区が変わるのではないか。学校を選択することは可能なかビジョンが聞きたい。

→基本的に学校選択制は視野に入れておりません。校区外から通学している学生がおりますが、様々な事情を勘案し、申請をすれば許可を出している場合があります。

◎五條市の教育関係の広報誌に学校適正化について記載されていない。教育委員会の熱意は伝わるが、五條市の動きが伝わってこず、力を入れているように感じられない。教育委員会が決めたら五條市はそれに向けて動いてもらえるのか不安がある。

→この事業は五條市全体で進めています。市長も年頭訓示で今年の二大事業に位置つけています。この事業は常に五條市と連携して進めており、教育委員会では教育の観点で提案をしております。

平成 29 年 7 月 14 日(金) 阿太小学校会場(20名)

◎今まで出した質問に対して回答は無いのか。

→現在も各会場で意見を集めているところであり、先程お示したスケジュールのとおり段階的に進めていきたいと考えております。

◎1月の意見交換会から進んでいないのか？

廃校の利用方法について前回質問したが決まっていないのか？

→現時点で配置が決まっていない状況なので、基本計画が決まった段階で具体的にになっていく。

◎今日も決まっていない。阿太小学校が今後どうなるかも決まらない。こういう状況と理解しているのか。

→現時点では具体的なところは決まっていない段階で、意見を真摯に聞いている状況です。五條市の将来の教育のあり方についてそれが望ましいものであるのか、また、まちづくりとどのようにつながっていくのか皆様と意見交換を行いながら考えていきたいと思っております。

◎阿太小学校でも学年によっては統合に賛成、反対がある。地域の方は反対が多いと思う。どちら

もうまいこと解決できるように、この校舎が無駄にならないように活用していただきたい。

◎統合するにあたっては急に統合するのではなく、1年2年の交流の期間を作してほしい。

◎校舎の跡地利用についての具体案を持って意見交換をしてほしい。

→ご期待に沿えない内容で申し訳ないと思っています。来年1月には学校適正化基本計画と認定こども園の整備計画が作成されるので、そこで意見を伺いたいと思っています。市のいろいろな課と連携して進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

◎学園を2つにする案は廃校にする学校が多いと思う。ここは環境的によいのだが検討すらされなくて廃校になるのか。

◎西吉野は遠いのに残る。中心から離れたところが廃校になるのか。

→皆さん方のお声を大切にしていかなければならないと思っています。これまでの意見交換会でいろんなご意見をいただきました。真摯に考えてより良い教育を目指していきたいと考えています。

◎住民投票をするべきだと考える。その結果ならやむなしと考える。統合される方は住民投票をやった方が納得できると思う。

→住民投票については考えておりません。これは教育を基本に考えており、こういう場で意見交換をすることでご理解をいただきたいと思っています。

◎住民投票をしてその結果をベースに考えてはどうかという意味で発言した。密室で決めるのではなくオープンにするべきと考える。

◎スライドの第1段階の単クラスの中学校と複式の学校はどこか。

→阪合部小、阿太小、西吉野中、野原中です。

◎他の学校の情報が分からないので具体的な情報(統合先の校舎の状況等)を提供してほしい。統合先が宇智小か北宇智小となっているが、学校の場所も校舎も見たことが無いので意見の出しようがない。

→素案では各学校の児童生徒数と校舎の保有する教室数の数で提案させていただきました。北宇智小学校と阿太小学校は教室数が足りないため、宇智小学校を素案で提示しましたが、駐車場が無いというご意見もいただいております。

◎子供は宇智小学校に行くと思っていない。これは私たちが決められることなのか。

→意見を聞かせていただいて最終的には教育委員会が決定します。

◎何も決まっていなくてどうして今日開催したのか。

→適正化の教育内容(小中一貫教育)が理解しにくいとの意見も多くありましたので、もう一度お話しさせていただくこととしました。それから、段階的なスケジュールについて、統合の条件について提示させていただき、意見を聞かせていただきたいと思っています。

◎1月になったらいきなりここと統合というのが決まるのか。

→1 月になったら統合先を提案させていただきます。

◎1 月に決まるということは統合が 3 年後になるのか。

→決まれば 4 月から統合協議会を立ち上げ 1 年ぐらいの交流の場を持つことを考えています。早くても平成31年になります。

◎校区外に行きたいという子がいると相談したが、来年は阿太小に入学してくれということか。

→住民票が阿太であれば原則として阿太小になります。

◎これは皆で考えて話し合ったのか。

→持ち帰って、話し合った結果です。

◎阿太保育所を閉鎖する時、寂れていくのが嫌だと言った時、市の方できちんと管理すると回答されたが、草ぼうぼうで管理されていない。阿太小も同じになるのではないか。

→こういうことが無いように話し合いを進めていきたいと考えています。現在、大深小を廃校としていますが適切に管理しています。

◎阿太小の子は統合の第 2 段階でまた違う学校に統合されるのか。何回も違う学校に行くことになるのか。

→前回の意見交換会でもそのようなご意見は頂戴いたしました。

◎北宇智小にそのまま行きたいが、素案では宇智小となっているので何度も学校を変わりたくない。

→今の段階では決まっていないので申し上げられない。

◎北宇智保育所行ってと言われて、今度は宇智小と言われている。あっちこっち言われどうしたらよいか分からない。親もしんどいし、子どももしんどい。

◎阿太小が加配によって教員を配置していることを私は理解しているが、知らない人もいると思う。

◎子どもが少なくなってきた中、適正化によって大きな学校で教育できることについて意見はないが、具体的な跡地利用の案を持ってきてほしい。

◎宇智小、北宇智小どっちに行くか決めてほしい。

◎教育委員会としての青写真を示して進めないといつまでやっても進んでいかない。こんな意見交換会だったら何度やっても意味が無い。

◎廃校にするときちっと方針を出さないと保護者の方はどこの保育所に通わせたらいいのか動きが取れない。

◎児童数が 10 人ぐらいで運動会もできない。親のエゴはあるけれども子どものことを考えるならば統合すべき。案を持ってきたら理解が得られるのではないか。

→計画については来年の 1 月を目処に提示させていただき、その計画を持って来させていただきます。その時に具体的なところをお示しさせていただきます。

◎今回初めて参加したが、保護者の方も説明をされていることが分かりにくいとか、今後について不安を持っておられるというのが感じられた。

◎スライドのスケジュールは学校規模を適正化していくスケジュールなのか。これを地域で了解してくれということなのか。

◎具体的な部分は、教育委員会で決めて提示するという話の流れなのかなと感じた。

◎説明の中では、統合協議会で地域の声や地域の学校としてコミュニティを取り入れるという趣旨のお話もありました。自治会にどのように話したらよいか正直迷っている。

◎全市にわたる構想は理解できたが、各地域の具体的な構想についてはどう考えているのか。

→これからの教育として子ども達にどのように力をつけさせるか、集団の中でどのような力をつけさせるか説明会等を通してお話させていただきました。阿太小学校はより多くの集団の中でお子さんを育てていく、そういう環境を作っていこうという提案です。

◎今、阿太は少人数だが急に大人数のところに子どもが通うようになって大丈夫か、不安である。

→子ども達はある一定の人数の中で育てていくことが必要と考えています。2クラスになるといろんな先生方のフォローも可能になります。第2段階で3つの学校が1つに統合する時の条件をいろんな方々のご意見を聞きながら考えていきたいと考えています。

◎はっきりと統合してほしいと頼まないから阿太小に來いとかの意見がでてくる。こんな状況ではまとまらないので教育委員会の方針をきちっと出すべきだ。

◎第2段階の統合であってもいずれは1クラスになるのではないか。

→推計では平成40年ごろでも2クラス維持できると考えています。

◎毎回、意見が出たものを渡される。答えられないものもあると思うが、答えの出たものを渡してほしい。

平成29年7月19日(水) 北宇智小学校会場(12名)

◎小規模校のメリット、デメリットの中で多様な人間関係と接するためとあるが、いくら多い人数の中にも自分で発信する力が無かったら違うと思う。

→多様な人間関係の部分ですが、教育の最終的な目的は人間性、発信する力、受容する力、人格を形成していく、そういう部分の多様なということでご理解いただけたらと思います。

◎適正化をしなくとも教育プログラムで達成出来るのではないか。適正化で教育環境の充実を図るとあるがちょっと誇張されているように感じる。

◎適正化に向けたスケジュールの第1段階は、どのぐらいの位置づけが分かりにくい。

→スケジュールの第1段階についてですが、複式学級は阿太小、阪合部小です。単学級の中学校

は野原中、西吉野中です。

◎意見書に目を通した。みんなの関心は学校がどこになるのか。適正化の流れは理解できる。ある程度、納得できる説明が必要と考えるが、今の段階ではまだ早い時期なのか。

→現在、幼保一体化の認定こども園の整備も進めており、この学校適正化と連携して、年明け1月頃に五條市学校適正化基本計画及び五條市認定こども園整備基本計画を皆様に提示する予定です。その後に説明会をさせていただく場を設ける予定をしております。

平成 29 年 7 月 24 日(月) 宇智小学校会場(6名)

◎インターネットで素案を見たが、実際にはまだ具体的に決まっていないのか。

◎統合はまだまだ先で6年、7年ぐらい先ということで良いのか。

◎この統合を実施した後、再編成、再々編成も有り得るのか。

→素案Ⅰ、Ⅱはたたき台であり、いろんな学校で意見を聞いているところです。来年1月には提示できるので、また説明会をさせていただきます。その後に各学校との統合協議会が始まります。統合の可能性が一番早い年度は平成31年度としています。

◎社会を生き抜く力を育む、主体的、対話的、深い学びとあるが五條市の具体的なプランがあれば聞かせてほしい。

◎今後、大学入試制度の英語も大きく変わってくる。小学校の段階でこのような力をつけさせるべきではないか。そうしないと五條の子は京都や大阪に後れをとると思う。

◎私は、社会の流れで統合は仕方ないと考えているが、実際に教育現場としてどういうものを描いていこうとするのか教えてほしい。

→今おっしゃったことは教育委員会が狙いとしているところです。私たちは小学校と中学校の授業形態が大きく異なるのはいけないと思っております。授業環境を整えるということは小中一貫をめざす大きな1つとなっております。小学校と中学校の先生が共に子どもの視点から見て、同じと感じられる学習スタイル、カリキュラムを構築していかなければならないと感じています。

◎親御さんに安心して子どもたちに五條市の教育を受けさせることが出来るということを具体的に示してほしい。

→今、五條西中学校と牧野小学校が小中一貫教育の研究指定校としてスタートしております。中学校の先生が小学校に来て授業をすることが行われており、研究自体の大部分がこれから始まるようしております。その成果については今後、報告されることになると思います。

◎今、聞かせていただいたことを私もいろんなところで説明していけると思った。五條市で安心して子どもを預けられるのではないかと期待している。大きなビジョンを持って質の高い、良質の教育を五條市でしていただいたら、親御さんたちも安心すると思う。

平成 29 年 8 月 8 日(火) 西吉野中学校会場(23名)

◎教育委員会の説明に対して反対の意見はありませんが、来年 1 月にはっきりしたスケジュールと、統合計画の説明がされるという理解でよろしいか。

→現在、認定こども園の整備計画も進めているので、それと関連して提示させていただきたいと考えています。その時に説明会の開催を予定しております。

◎教育委員会の説明は、人数が多いほうがいいのかというのが尊重されているように聞こえます。人数が多くなると、いろんなリスクがあると思う。少ない人数のほうが、目が行き届いていいと思う。

→我々はこれからの五條市全体のことを考えて、将来の子ども達へいかにして質の高い教育環境を提供していくのかということを提案しております。小学校の前半の部分につきましては、小人数の学級できめ細かく指導をしていき、学年が上がる毎にその枠を広げていくスタイルを考えています。

◎部活動も別にしなくても良いので、あまり強調しなくていいのではないかな。

◎野原小、阪合部小、西吉野小が野原小に統合して小中一貫教育をしてほしいと思っている。

◎単学級になっても野原小、野原中学校を残していただいて、小中一貫教育をしてほしいと思っている。ぜひ、川南の方にも賛同していただきたいと思っている。教育委員会もこのような地元、家族の意見を受け止めていただきたいと思う。

→場所については今、いろんなご意見をいただいているところです。いろんなご意見をお持ちの方がおられますので、それらを考慮しながら最善の案を考えていきたいと思っています。

◎残すためには一体どうしたらよいか、西吉野小、阪合部小でも川南に学校を残すためにどうしたらよいか発言していきたいと思っている。

→私たちはいろんな意見を伺って最善の案を考えていきたいと思っていますが、すべての人の意見を基本計画に反映することは不可能と考えています。できるだけ多くの方のご意見を聞くために、昨年の 11 月から今までに説明会、意見交換会を開催してきており、これから具体的な計画案を作りたいと考えています。

◎基本計画が出来るまでに、実際に討論する場を持っていただけなのか。具体的な案が無いと、どう指摘したらよいかわからない。

→いろんな会場でご意見をいただいています。この適正化の事業はすべての人の意見を通すことは不可能であることをご理解ください。学校を残してほしい、理解してほしいという意見もいただいておりますが、五條市は教育で人づくりを目指していきたいと考えていますのでご理解いただきたいと思えます。

◎案が決まっていて、それに対してのご理解というのであれば分かるが、素案では理解や納得のしようが無い。

→来年 1 月には基本計画をお示しできると考えております。

◎基本計画を示した後も意見をお伝えして、考え直していただくことは可能か。

→基本計画は最終的なものと考えています。昨年からこのような機会を持たせていただきまして、いろんなご意見を聞かせていただいております。最終的には教育委員会で基本計画を作成します。

◎野原小の私が、西吉野小の方に野原に統合をお願いするというような行動をとっても良いのか。本案が出来るまでにその方向性を示せるような意見交換会にしていきたい。

◎今ここにいる保護者以外にもたくさんおられますので、これだけの人数で決めてしまうのは間違っていると思う。

→皆様方いろんな思いがあり、たくさんのご意見をいただいております。私たちは10年、20年、30年先の子ども達を見据えて五條の教育を作り上げていきたいと考えています。いろんなご意見がありますがご理解をいただくしかないと思っています。

◎地元の学校が無くなるということは非常にさみしいことですので、先程の野原の方の思いは分かります。しかし、そう思われるのであれば、皆さんから署名を集めて教育委員会に提出するののも一つの方法だと思う。

◎野原のほうに小中学校を集めてという意見がありましたが、私たち西吉野の住民としては、ここに新しい校舎があるので野原の方にここに来てもらったと思う。

◎スケジュールの第1段階で示された単学級の中学校はどこが統合になるのか。

→将来使用する校舎については、これから検討していく段階です。ただし、現在単学級の中学校と複式学級の小学校につきましては、切羽詰まった状況ですので第1段階で統合したいと思っています。

◎例えば、第1段階で西吉野が野原に統合されて、人数が少なくなったらまた第2段階でどこかの学校と統合するということもあり得るのか。

→基本的に同じ子どもが2回の統合を経験することは避けたいと思っています。第3段階の2中学校、4小学校の2学園のスタイルを早く決めて、その中で統合を考えていきたいと思っております。

◎第3段階の学校は新たに作るのか、それともどこかの学校を改築するのか。

→五條市の財政状況によっても変わってきます。長寿命化工事か新築かは五條市の状況を踏まえてこれから決まってきます。計画案を提示する段階ではつきりします。

◎小学校の人数が段々減ってきて成り立たなくなったら、市内中心部の学校に統合されるのか。送り迎えが大変になるのではないか。

→統合の条件を設定し、それに照らし合わせて統合を考えていきたい。第2段階で西吉野小が対象になってきます。スクールバスの乗降場所等についても今後、統合協議会で皆さんのご意見を聞きながら考えていくこととなります。

◎今、小学校の方は統合する時は卒業しているので私は良いと思っている。

平成 29 年 8 月 9 日(水) 野原中学校会場(21名)

◎スクールバス導入について聞きたい。学校が統合して、広範囲から児童生徒が学校に通うことになるが、台風等で警報が出たときはスクールバスを運行してもらえるのか。

→現在の西吉野では、警報が出る前に臨時でスクールバスが運行されています。このように異常気象時に対応して運行を行います。

◎ニュースで、中国で地震が起きている。前回も地震が起きた時のリスクについて言われている。教育、勉強も大事だがもっと大事なことがある。耐震性の問題等、学校の安全性が大事と感じた。

→現状、五條市内では五條東中のトイレ以外、全ての学校の耐震率は100%達成しています。学校の安全性はこのように確保しておりますが地震だけでなく、何かあった時は学校が避難所の拠点となりますので学校での待機となり、保護者の方に迎えに来てもらうこととなります。

◎古い学校が多いので学校のリフォーム、新築が必要と思う。どこの学校を残すとか方向性を示してほしい。

→どの校舎を使用するかについては、意見交換会を通してたくさんのご意見をいただきました。そのご意見をじっくりと検討して、計画を作成していきます。新たな場所の予算が可能であれば、新築ということも考えられます。

◎耐震率が100%であっても25年経って改修工事が必要なのか。

→基本的に建物は使っていても、使っていなくても老朽化は進むので、25年周期で大規模改修を行っています。今回の学校適正化の計画が定まった以降には、校舎の性能をさらに向上させるための長寿命化工事を行うこととしています。

◎五條中でコンクリートがはがれたと聞いている。命にかかわることなので子どもを近くに置いておきたいと考えています。

→長寿命化工事というのは行っていかなければなりません。五條市の予算の部分と合わせて総合的に考えて進めていきたいと思っております。ただし、子ども達の学びの視点を考えると、ある一定の集団の中で行った方が望ましいと考えております。

◎適正化のスケジュール案について、第1～第3段階の学校名を教えてください。

→複式の小学校は阿太小と阪合部小です。全学年単学級の中学校は西吉野中と野原中です。

◎第2段階の対象となる学校はどこか。

→先程申し上げた学校以外、全てです。

◎いつ統合するのか。子ども達が何処の学校に行くのか、何処の学校から来るのか教えてください。

→素案Ⅰと素案Ⅱをお示しし、たくさんのご意見をいただきました。それらのご意見を検討しまして、来年1月に計画を発表し、説明会を開催したいと考えています。統合は学校の先生の配置等もあり

ますので、平成30年度は統合協議会で子ども達の交流やスクールバス等の詳細を検討し、スムーズにいけば一番早くて平成31年度のスタートとなります。

◎第1段階の小学校と、中学校どちらが先に統合するのか。

→これから検討していきますが、阿太小学校の状況が最もひっ迫していると思っております。

◎平成31年からスタートとおっしゃったが、先程の質問のように野原が行くのか来るのか決めないといけないと思っている。いつ頃決まるのか。

→計画では来年の1月以降になります。

◎川南に学校を残したいと思っているが最終的には誰が決めるのか。

→最終的には教育委員会で決定します。

◎良い方向になるように決めていただけたらいいと思います。安全面も考えていただいて、今後もよろしく願います。

◎来年1月までにまた意見交換させてもらえるのか。

→来年1月以降に説明会を開催させていただきますが、このように皆様のご意見をお聞かせいただく意見交換会は、この後開催する2会場と認定こども園の整備計画の意見交換会で最後となります。

◎宇智小の意見交換会に行ったら3人しかいなかった。参加されている方の人数が少ないと思う。

→意見書、意見等かなりいただいています。議論は出尽くしたので少なかったと考えています。

◎川南側に学校を残す案を教育委員会に示してほしい。これを最後の意見交換会としないでほしい。

→昨年の11月の説明会以降、意見交換会を開催させていただき、たくさんのご意見、意見書をいただきました。これをもとに十分に検討し、計画を作成していきたいと考えておりますのでご理解いただきたいと思っています。

◎小学校低学年の保護者等、今回の説明会の参加していない保護者の意見はどのように聞いているのか。

→8/20も意見交換会の開催を予定しています。保育所、幼稚園、学校等を通じてのご案内し、意見書をいただいています。

◎参観日では学校統合の話等、出ていないのか。

→(野原小校長)参観日では学校が無くなったらどうなるかという話は出ているが、具体的な話はありません。

◎例えば、学校統合について教育委員会からこういう話があったとか、そういう話はありません

か。

→(野原小校長)教育委員会のお話は伝えております。書面の形ではお伝えはしていません。

◎説明会に来られない方の声も聞いていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎本案が出される前に、方向性を示した段階で意見を募ることはできないのか。

→基本計画提示後、パブリックコメントでご意見をいただく予定をしております。

◎1月より前に素案のような案を広報等の文面等で住民に示さないのか。

→時間的にも厳しいと思っております。昨年11月に計画素案をお示しし、たくさんのご意見をいただきました。そこで方向性をお示しし、たくさんのご意見をいただきましたのでそれに基づいて計画を作成していきたいと考えております。すべてのご意見を反映することは不可能ですので、その中で皆さんから頂いたたくさんのご意見を検討して計画を作成したいと考えております。

平成 29 年 8 月 20 日(日) 中央公民館会場(3名)

◎日本は少子高齢化、人口減少が進んできているが、国は何の手立てをしてこなかった。また、介護や子どもを育てるため、親の負担が大きい。市町村合併が問題だった。

◎国は地方が継続的に成長していくために財源を充てるべき。地方を切り捨てている弊害が今、出てきている。国の政策に乗るのでなく地域住民の立場で進めていくべき。

◎自分の地域から学校が無くなるということはそこに人が住めなくなるということ。国を挙げて少子高齢化に取り組むべき。長い間教師をしてきて国に提言してきたが、受け入れてもらえなかった。国はもっと教育にお金をかけるべきだ。

→先程、五條市では 30 人学級を進めていく説明をさせていただきました。国はまだ 30 人学級をしておりますが、国がしていないのならば五條市でしていこうという提案をさせていただきました。

◎五條でも若い人の意見を聞くために交流していく場を設けるべき。

→この学校適正化は、目の前の子ども達が将来 20 年後、30 年後に生き抜くためにどのような力をつけさせていくのかに視点を置いております。ご指摘された子育ての内容につきましては大切な部分が多くありましたので、できるだけ検討していきたいと思っております。

◎人口が減っていくことは何十年も前から国は分かっていたはず。学校が無くなると過疎が進んでいく。

◎西吉野は若い人がいないが、白銀地区は柿栽培で若い人が残っている。残っているのは子どもの頃から柿栽培に携わっていたから。西吉野では幼、小、中の一貫教育のようなものを何年も前から行ってきている。

→現在の西吉野の取組については承知しております。我々は5年、10年、30年先になっても子ども達が五條で育ち、学んだことを誇れるようになってほしいと願っております。私たちは説明会や意見交換会でお答えしているとおりに、教育を通してより良いものを学んでほしいと思っております。ご意見を十分に検討して、基本計画を作成していきたいと思っております。

◎幼稚園では中学校の体育の先生が走り方、ボールの投げ方等を教えてくれている。また、地域の人も学校に協力してきた。コミュニティスクールも盛んに行われている。小学校には若い先生が多いが退職されたOBの先生が臨時で入って協力して指導を行っている。

→若い先生の交流については、横のつながりを広げるために教師塾というものを開催しております。自主参加のスタイルですが、いろんなところから講師を呼んで行っております。また、五條市学年会というものを行っており、五條市のいろんな学校の先生が学年ごとに集まって先生同志の交流や、運動会をどのようにしているのか等の情報交換を行っております。

◎大人数に越したことはないが、ICTなどで画面を通しての交流もできるのではないかな。

◎中学校の校舎が立派なので、その校舎を無駄にならないようにしてほしい。

◎中学校で人数が少ないために、部活動が出来ていない部分だけが問題だと思っている。それ以外は環境的に恵まれているので、皆さんの意見を取り入れて考えていただければと思っている。

◎人が少なくなったからといって切り捨てず、学校、教師、市職員、公民館等の施設が少なくなって持続できなくなるような街になってほしくない。

◎どこに住んでいても公平に公教育が受けられるのは私たちの権利です。地域の住民の悩みや願い、生活をどう守っていくかに力を注いでほしいと思います。

平成 29 年 8 月 21 日(月) 阪合部小学校会場(25名)

◎適正化の統合のスケジュールについてですが、第1段階で統合され、その後の第2段階でまた統合されることはあるのか。

→今、考えているのは一人の子どもが6年間で2回の統合を経験することが無いようにしたいと思っております。使用する校舎が決まると、その学園の中で統合するのは1回だけです。

◎小規模校について、資料に記載している文部科学省の基準は全国统一の基準なのか。地方は駄目だということなのか。

→資料の基準は文部科学省の基準になります。この適正規模というのは大都会であっても地方であっても全国共通の基準となっています。小規模校には小規模校の良さがあります。

◎スクールバスについて、小学校3km、中学校6kmとあるが人数が少なく(例えば中学生2人)な

っても運行してもらえるのか。

→スクールバスは1人であろうが、2人であろうが運行されます。前回、大深の方が質問をされましたが、これまでと同様にタクシーになると思います。本市では現在、西吉野でスクールバスを運行しております。それを参考にして、皆様からのご意見をいただきながら考えていきます。

◎先日の教育フォーラムで文科省の講演を聞いた時に、小中一貫教育の話がありました。将来的に五條市は単なる統廃合だけでなく、小中一貫教育も目指しているとのことでした。義務教育学校、併設型小中学校、連携型小中学校がありました。五條市はどのように考えているのか。

→施設一体型、施設分離型にするかは五條市の予算との関係になってきますので、今の時点では申し上げられません。素案では施設分離型を提案させていただきました。

◎学年の呼び方は中学校1年生と呼ばずに7年生というようになるのか。

→施設一体型の学校ではそのように呼んでいます。施設分離型の学校では、小学校と中学校が分かれていますので、小学校と中学校を分けて呼んでいます。先進地校の東山泉小中学校(京都市)では、小学6年生が中学校の校舎を使用していますので6~9年生と呼んでおります。

◎適正化に向けたスケジュールの説明の中で1学年の人数の基準の例として30人をあげた根拠は何か。

→例としてあげさせていただきました。今、30人学級を提案しておりますので児童数が31人になったら15人と16人の学級になりますので、この15人を一例として申し上げたものです。

◎各小学校の単位で指導方法が違おうと思う。その中で各小学校の先生方へのヒアリングやミーティングははどの程度行っているのか。

→学校適正化について先生方へのヒアリングは行っておりません。学校教育課の学力向上委員会の授業改善の一環としては行っております。学校適正化に関する意見については、意見書を書いていただいている先生方もおられます。

◎現場の先生の中に学校適正化に反対している方もいると思う。子どもの中でも小さな集団で伸びていく子もいると思う。そういう子どもの受け皿として小規模校が残っても良いのではないのか。その辺りの考えはいかがか。

→小規模特認校は県内でも存在しますが、五條市の中では人数の大きな規模の環境で教育を行っていきたくて考えています。ご理解をお願いします。

◎6年先の目処とは、平成35年ぐらいですか。

→平成30年3月までに計画ができ、その後統合校との交流や準備の期間を設けておりますので、最短で第1段階の平成31年度の統合が可能になります。

◎意見交換会のご意見に対する回答も記載してほしい。

→各地区によりご意見も違いますので、その都度回答させていただいております。余りに膨大な量になりますので、ご質問等ございましたらお答えさせていただきます。

◎前年度、自治会として意見書を届けたが、見ていただいたのか。説明を聞かせていただいて阪合部小が無くなるとなっているが、できれば残してほしいと思っている。

→意見交換会を行っていく中で、学校が無くなると地域とのつながりが少なくなり、衰退するであるとか、自分の学校を残してほしいという意見が多く書かれております。地域から出された要望である署名や、こうした意見も地域の保護者や皆様の思いが集約されたものとして承りました。いただきました要望、署名につきましては地域の皆様のご意見として大切に捉えさせていただきたいと考えております。

◎第1段階の最短で平成31年度に統合すると話があったが、小学校では阿太小学校だけと思ってよいのか。複式学級が設置されている小学校という表現が分かりにくい。

→複式学級の設置されている小学校と全学年単学級の中学校に該当する学校は阪合部小、阿太小、野原中、西吉野中です。この4校が第1段階のところに該当している学校です。第1段階は平成31年度からスタートですので、これを1回ですべてを行うことはできません。第1段階でも段階的に行わないと無理な部分がありますので、これから使用する校舎等、皆様のご意見を反映しながら考えてまいります。

◎平成30年3月までに出される最終案では具体的な学校名を出してもらえるとっていて良いのか。

→来年1月以降に公表する基本計画では使用する校舎、学校名を具体的に提示したいと考えております。

◎阪合部小学校が平成31年に統合する候補にあがっているという説明がありましたが、この後はどのように考えているのか。

→第1段階の早い段階の学校は31年度からスタートできるとして、阪合部小学校がそれに当てはまるかどうかは、これからになります。平成31年に4校すべてを一度に行うということではありません。基本計画の中に提示していきます。

◎その後の段階で阪合部小学校の跡地をどう使うのか。

→まだ、確定しておりません。皆様のご意見を十分に反映したものを考えていかななくてはなりませんし、子ども未来課の単独で進めることは出来ません。子ども達や、若い世代の人たちが十分に活用できるような施設が出来たらと思っています。具体的にはこれから十分に考えてまいります。

「五條市学校適正化に関する意見交換会」開催後の意見書の内容 (平成29年7月10日～8月21日 9会場)

対象 : 地域住民、未就園児・園児・児童・生徒の保護者
意見書の合計 : 8名

◎意見交換会開催後にいただいた意見書の内容

牧野小学校区の方

- ・ スクールバスの基準について、中学校6kmとしているが荷物の重さを考えると歩ける距離ではないと思う。
- ・ 自転車通学を前提としているようだが、坂道の多い地域なので無理だと思う。
- ・ 小学校3kmとしているが、小学1年生が3km歩くことについて大丈夫と思っているのか。
- ・ 意見交換会の参加者が少なすぎて残念に思う。

阿太小学校区の方

- ・ これまでの質問に対する対策や検討結果について具体的な説明もなく意見交換会が開催された。
- ・ 保護者には学校を通じて開催案内を配布されたが、地域住民には広報五條に掲載されている開催案内のみで一方的だ。
- ・ 学校を存続させる施策が無いか検討した形跡が見られない。
- ・ 少子化が進んだからといって地域文化の拠点となる学校を切り捨てることに疑問がある。
- ・ 当初の方針を白紙撤回して、住民投票による統廃合の是非を地域住民に問うべきだ。
- ・ 南阿太地区の地域創生となる諸施策を考えるべきだ。
- ・ 天理市の福住小学校は校区を取り払い、転入生増加により複式学級が解消されている。
- ・ 近郊の吉野町、下市町は学校の統廃合により、子どものいる世帯が学校のある地域に転出し、一挙に過疎化が進んだ。
- ・ 五條市において他市の事例を捉えて、学校を廃校にするのであれば跡地利用とセットで検討し、地域住民の理解が得られるように説明するべきだ。

宇智小学校区の方

- ・ 意見交換会に参加して出席者が少なく、関心の無さに驚いた。
- ・ 地域住民への意見交換会の開催案内はどのように行ったのか。広報の案内を見落としたのか分からないが周知の方法を見直す必要があると思う。
- ・ 使用する校舎の確定や空校舎の利活用、スクールバス等、詳細な説明を待っている。
- ・ 子ども達の教育のために頑張っていたきたい。

西吉野小学校区の方

- ・ 学校が無くなるのは寂しいが、子どものことを第1に考えたい。
- ・ 将来、たくさん的人数の中で仕事をしていく時のことを考えると、人数の多い環境で学ぶことは必

要だと思う。

- ・ 最終的に何度も統合を繰り返すのならば、最初から中学校1校、小学校1校で進めることは出来ないか。
- ・ 色々な意見がある中、中学校1校、小学校1校にすれば平等になると思う。

野原小学校区の方

- ・ スケジュール案は分かったが、一番尋ねたい方向性が分かりにくい。具体的な説明がほしい。
- ・ 統合する中で吸収統合にならないか心配。
- ・ 30人学級の内容を教えてほしい。
- ・ 地域住民、保護者がある程度、寄り添える状態で進めてほしい。
- ・ ふるさと学習の取組が統合による校舎の近隣ばかりになり、遠い所の取組が薄れてしまわないか心配。
- ・ 本小学校は少人数であるが、熱心に指導していただいているので困り感はない。それなりに切磋琢磨している。

野原小学校区の方

- ・ 一番気になるのは野原に学校が残るかどうか。家に近いほうが良い。
- ・ 平成30年3月までに決まるのか。きっちりと案を出して説明した方が良いと思う。

野原小学校区の方

- ・ 一番聞きたいのは将来、どこの学校に子どもが通うのかということ。
- ・ 今までの説明会を聞いて進展が無い。このような説明会ならば今後必要ないと思う。

阪合部小学校区の方

- ・ 阪合部小が無くなるのであれば、合併を納得してもらえるような案を出して説明会をしてほしい。
- ・ 話を聞いていたら大きい小学校に吸収合併されるような感じで嫌になる。
- ・ もし、合併するのであれば新しい学校として校歌、制服、体操服、校章、学校の特色等変えてもらいたい。
- ・ 小学校、中学校がどうなっていくか分からない状況で子供たちの将来が心配だ。